

令和5年度 第1回大津市地域公共交通活性化協議会

日時：令和5年5月30日（火）10：30～

場所：大津市役所 別館 1階 大会議室

1 開 会

事務局： 定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第1回大津市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。なお、今回につきましては、一部の委員の方には、オンラインで会議に参加いただいております。それでは速やかに議事を進めて参りたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

開会にあたりまして、北澗会長よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ（会長）

ただいまご紹介をいただきました、大津市副市長の北澗でございます。本年4月より、国土交通省よりご縁ありまして本市の職を拝命させていただいております。同様に、本協議会の会長も務めさせていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

まずは、委員の皆様におかれましては公私ともご多忙の中、本協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、平素より本協議会の事業の推進をはじめ、本市交通行政全般にわたりまして、格別のご理解とご協力を賜りますことを重ねまして御礼を申し上げます。皆様におかれましては、大津市地域公共交通計画に位置付けられている各施策のご推進にご協力をいただいておりますことと思います。引き続き、この計画に基づき、地域公共交通の活性化を進めていきたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

さて、本日の協議会ですが、本日は令和4年度の決算、事業報告、令和5年度の予算事業についての報告のほか、2021年3月に策定しました大津市地域公共交通計画の各施策の推進状況について報告をいただくこととなっております。また、そのうち地域公共交通確保維持事業に関わる計画についてご審議をいただくという段取りで進めていくこととなっております。委員の皆様におかれましては、是非とも忌憚のないご意見を賜り、実りある会議となりますようお願いを申し上げさせていただきます。開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

【報告事項】

- (1) 令和4年度決算及び会計監査並びに事業報告について
- (2) 令和5年度予算及び事業について
- (3) 令和4年度公共交通全体の利用状況について
- (4) 大津市地域公共交通計画の各施策の進捗状況について

【承認事項】

- (1) 地域公共交通確保維持事業に係る計画について

【報告事項】(1) 令和4年度決算及び会計監査並びに事業報告について

会長： まずは、議題の報告事項(1) 令和4年度決算及び会計監査並びに事業報告について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(報告事項(1)の資料について、事務局より説明)

会長： ただいま議題(1)について、事務局からご説明をいただきました。このことについて、委員からご質問ご意見等がありましたら、お願いいたします。

(特に質問、意見なし)

【報告事項】(2) 令和5年度予算及び事業について

会長： それでは続きまして、議題の報告事項(2) 令和5年度予算及び事業について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(報告事項(2)の資料について、事務局より説明)

会長： ただいま議題(2)について、事務局からご説明をいただきました。このことについて、委員からご質問ご意見等がありましたら、お願いいたします。

(特に質問、意見なし)

【報告事項】(3) 令和4年度公共交通全体の利用状況について

会長： それでは続きまして、議題の報告事項(3) 令和4年度公共交通全体の利用状況について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(報告事項(3)の資料について、事務局より説明)

会長： ただいま議題（３）について、事務局からご説明をいただきました。このことについて、委員からご質問ご意見等がありましたら、お願いいたします。

（特に質問、意見なし）

【報告事項】（４）大津市地域公共交通計画の各施策の進捗状況について

会長： それでは続きまして、議題の報告事項（４）大津市地域公共交通計画の各施策の進捗状況について、事務局よりご説明をお願いいたします。

（報告事項（４）の資料について、事務局より説明）

会長： ただいま議題（４）について、事務局からご説明をいただきました。このことについて、委員からご質問ご意見等がありましたら、お願いいたします。

よろしければ、私から１点、少し補足をお願いできればと思うのですが、**JR**さんの **MaaS** アプリ **WESTER**の方が所々出ていますが、こちらについて、少し内容の方を補足いただければと思います。

委員： **JR** 西日本 京滋支社です。ご質問ございました、**MaaS** アプリ **WESTER** についてですが、こちら **MaaS** アプリということで、弊社 **JR** 西日本の運行についての情報はもちろん、私鉄様、バス会社様の乗り継ぎの列車時刻、あとは、我々 **JR** 西日本の **J-WEST** カードというクレジットカードがございまして、そちらと紐付けると、決済等が可能になるということでございます。

また、**ICOCA** という **IC** カードがございまして、そちらは今年からモバイル **ICOCA** ということで、カードを持たずに、**WESTER** 内で **ICOCA** の機能を持つことができ、カードがなくても、携帯をタッチしていただくだけで列車に乗れたり、お店等で決済ができたり、そういった機能を持ち合わせております。モバイル **ICOCA** については、今現在 **Android** のみの利用となっております、今年中に **Apple** 社の携帯の方でも使用できるように調整中というふうに聞いております。

こちらのモバイル **ICOCA** ですが、定期ももちろん紐付けると可能でございまして、以前ですと、定期券は窓口で並んで購入するということになるのですが、モバイル **ICOCA** ですと、窓口いらずで、携帯上で定期の購入、または継続ができるということで、非常に便利なアプリとなっておりますので、ぜひ皆様の登録、もしよろしければ利用していただければと思います。

会長： ありがとうございます。そのほか事業者さんでこういったところもやっているのですといったコメントも含めて、いろんなご紹介をしていただければと思いますが、ご発言の方、いかがでしょうか。

委員： これまでの報告も含めてですが、可能であれば、毎年度、運行コストと収入との関係で、デマンド便の収支率がどれぐらいなのかというのはいくら出しているかというのを出さないといいなと思います。乗合率を出されるといのは大変いいことですので、乗合率が向上しつつ、できれば、そうすると収支率も上がっていきますので、ちょっと具体的に提出していただければいいと思います。

あとは、運行本数を増やすと、利用は伸びますが、なかなか乗合率が高まらないので、できる限り今回の実証実験の中身を変更して便が決まったので、志賀地域並みの乗合率が期待できることが、目標になるのかなというふうに感じます。

それと、この大津市の大変すばらしいところが、滋賀県さんがかなりご協力いただいているのですが、子供たちを中心に大規模なモビリティマネジメントをされているところはないので、可能でしたら次年度以降、参加された子供たちに、子供たちプラス保護者1名が、例えば大津市内、バス、電車乗れるよってというチケットを配布するとかして、配布した後に、交通行動を変えていただいたかどうかを、実証いただくと、これをやった成果がどうなのかが見えてきていいことだと思いますし、実際これを体験すると子供たちは乗りたいになるので、そういった意味で保護者プラス大人だけでも可能な事業者さんだけでも結構ですので、大体700人ぐらいですから、予算的にも100万ぐらいでいける中身だと思いますので、それは随時ご検討いただければいいと思います。

あと、今年度の目玉は平和堂さんとの連携キャンペーンですので、これはぜひチラシの配布もそうなのですが、これをやっている中で、この沿線の地域の方々が率先してみんなで平和堂買い物に行こうかなというツアーをやっていただくと、平和堂さんの品揃えのよさを、皆さんよく知っていると思いますが、そこに行くまでにバスで行く、デマンドで行くのに、心の抵抗が下がりますので、そういったことに支援をいただければいいと思います。

あと、今回の17ページのバスの利用者数がなかなか戻らないという中で、ざっくり計算すると年間走行距離が減っている中で、便数減った分、お客さん減って、年間走行距離の減少分を利用者数の減少分と当てはめると、同じぐらいですので、恒常的に利用されている方が、まだまだ何とかご利用いただいて、新規の方が少ないのかなというデータが大体推察されますので、この辺もやっぱり乗車体験しないことにはなかなか難しいので、引き続き頑張っていただければと思います。

最後に、力を入れていただければいいと思うのは、私京都市に住んでいるのですが、京都市民としても、この25ページのパークアンドライドの利用促進です。京都市内、今

年の秋からバスのみ1日券が廃止され、地下鉄とバスの1日券のみになります。そうになると、京都市内まで車で行って、どこか止めて、バスだけ安くいこうということができなくなるので、大津市にとっては、大変有利な状況なのです。浜大津で止めて、京阪電車に乗って、地下鉄バス1日券を買ってくださいと言ってもそんなに変わりませんので、ぜひここは強く、可能であれば名神のサービスエリアで、パークアンドライドをするなら、京都の手前の大津がいいと言っただけだと、大変効果があると期待しております。京都市民としてもあまり車で来て欲しくないというのは本音ですので、できれば大津で止めて大津のよさを知っていただきたいなと思ひもあり、ここで強く宣伝いただけると大変助かります。以上です。

会長： いろいろなご意見ありがとうございます。事務局から何かコメント等ありますでしょうか。

事務局： 収益率の話につきましては、今後そういったところを分析して、ご報告させていただけるようにしたいと考えております。また、乗合率については志賀地域並みに上がればいいなというところを検討した中で、定時制というところを導入しておりますので、まずはそこを目指して頑張っていきたいと思ひます。

交通環境学習の方ですが、滋賀県様の主体でやっていただいておりますので、滋賀県様との協議を通して、どこまでできるかを今後調整させていただきたいと思ひます。

平和堂との連携キャンペーンですが、おっしゃっていただいた通り今年が目玉かなと思っておりますので、しっかりと平和堂様と連携してできるようにしていきたいと思っております。

パークアンドライドについても、できるだけ利用していただけるように、どういった方法がいいのか関係部局と調整しながら、進めていきたいと思っております。いろいろご意見いただきましてありがとうございます。

委員： 滋賀県交通戦略課です。先程、交通環境学習のお話がありましたので、補足ですが、この交通環境学習につきましては、県の交通戦略課の方で、バス協会様と、バス事業者様にご協力いただいて実施しているものになります。特に県内でいいですと、竜王町さんとか、鉄軌道がないような地域もありますので、そういった地域の中学生の方に、小さい頃から公共交通のあり方を教えてさせていただけるような取組になりまして、ご意見いただいているところで、効果検証の方法につきましては、持ち帰らせていただいて、検討させていただきたいと思っております。

会長： ありがとうございます。その他、皆さんご意見、ご質問等ありますでしょうか。

(特に質問、意見なし)

【承認事項】(1) 地域公共交通確保維持事業に係る計画について

会長： それでは続きまして、議題の承認事項(1) 地域公共交通確保維持事業に係る計画について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(承認事項(1)の資料について、事務局より説明)

会長： ただいま承認事項(1)について、事務局からご説明をいただきました。このことについて、委員からご質問ご意見等がありましたら、お願いいたします。

委員： 京阪バスです。ただいまご説明いただきました大津比叡平線のフィーダー補助の関係、今回もご申請の手続きをいただきましてありがとうございます。

弊社がもともと何度もお願いしております、この比叡平地域の移送については、今回の審議の承認事項となりますこの大津比叡平線と、先ほどの報告事項で、令和5年度の状況として、ご説明をいただきました京都側、京都比叡平線の輸送と、あわせて、路線の維持には不可欠な事業と考えておりますので、引き続き、現在ご調整をいただいていると聞いております。どうぞよろしく願いをいたします。

会長： ご意見として伺っておりますが、事務局からよろしいですか。

事務局： ありがとうございます。現在、京都比叡平線については、京都府、京都市、滋賀県様と協議させていただいているところでもございますので、京阪バスにもご協力いただいた中で、是非とも維持していきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

会長： ありがとうございます。その他ご意見ご質問等ありますでしょうか。

委員： 滋賀運輸支局です。コロナの関係で、国の方で事務連絡がされ、要件緩和が出ているのですけれども、その要件緩和が今後はなくなるかなというところが出てきています。確か2. なんぼという利用者数のところがあつたかと思うので、その系統についてはちょっとご注意いただきたいなというところです。

あと幹線系統についても、今ご検討いただいているというところなのですけれども、ページの28ページ見ていただいて、9番に生産性向上の取組に係る内容等の記載があるので、地域間幹線系統のみと書かれています。実際、補助要綱で

は、地域間幹線の補助要綱にこちらが記載されていて、1%以上の収支向上っていうところが求められています。最初のところでは計画運行回数とか計画の部分で出しますので、いらなににしても、今後そういった1%の向上ってところが求められてきますので、フィーダーも同じように、利用の向上、生産性向上を地域と一緒に考えていただきたいと、もう事業者さんだけの取組では難しくなっているところでもありますし、車に乗れない高齢者の方とか、学生の方の輸送というところがメインになっていますが、その方が利用できるようにするためには、地域の車に乗られる方も一緒に考えていただかないといけないと思いますので、地域代表の方もいろいろおられると思いますので、その辺ご理解いただいて、皆さんで支えていってもらえたらなと思います。

会長： 事務局から何か回答ございますか。

事務局： ご意見ありがとうございました。この補助につきまして、今後も支局様と調整してさせていただきたいと思っておりますし、お話いただきました1%の向上というところは非常に重要と認識しておりますので、この辺は、地域の皆様とともに利用促進に取り組ながら、路線を維持していくというところをやっていきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。

会長： その他ご意見ご質問ありますでしょうか

(特に質問、意見なし)

会長： よろしいでしょうか。それではご意見等ございませんので、ただいまからこの承認事項についてお諮りをさせていただければと思います。本件についてご承認いただけます方は挙手をお願いできればと思います。

(過半数以上、挙手)

会長： ありがとうございます。それでは挙手いただきましたので、この事項については承認をいただいたということで整理をさせていただきます。

4 その他

会長： それでは、その他に移らせていただきます。これまで議事終わりましたけれども、その他、何かご発言しておきたい事項等ございましたら、ご発言をいただければと思

います。

委員： 皆さんと共有しておきたい事項というので、2018年から2022年のこの5年間の間に、0歳から4歳までの赤ちゃんが、どれだけ京都市から大津市に移っているかを調べました。要は、京都市では、今、子育て世代がどんどん逃げ出しておりまして、その行き先が、主に大津市、宇治市、亀岡市、向日市なのです。この4年間、赤ちゃんだけで見ると、5年間で900人弱、大津市に移ってきています。これに保護者とか兄弟がいると、大体2,600人ぐらいが、5年間で大津に来ている、年に直すと500人ぐらいが来ていただいていると、しかも大津の西武の跡地がマンションになって、分譲価格を見ると、大変私達にとって魅力的な価格で、おそらく京都からもっと子育て世代が出るだろうと、その京都市民ってどんな特徴があるかっていうと、公共交通の利用の分担率が非常に高い街なのです。

バス、自転車等を中心に来ている人たちが、この大津にやってくるということはかなり公共交通を使っただけのポテンシャルある方々ですので、ぜひこのバス電車乗り換えマップを転入された方々に配布いただければと思いますので、その辺ご検討いただければと思います。せっかくのチャンスで、大変いいマップになりましたので、これをもっと広めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長： ありがとうございます。ご意見としてしっかり受けとめてですね、また検討を進めたいと思います。その他ご意見ご質問等、最後発言がありますでしょうか。

(特に質問、意見なし)

会長： 特にご意見、ご質問等ございませんようですので、以上をもちまして本日の協議を終了させていただきたいと思います。皆様におかれましては、円滑な進行にご協力いただきありがとうございます。

それでは進行の方事務局にお返しをさせていただきます。

事務局： 本日は、委員の皆様におかれましては、貴重なご意見、ご助言等を賜りまして、誠にありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回大津市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。